

H28年 6月12日(日) NPO 法人アスペの会石川・金沢エルデの会共催セミナー 「発達障害を持つ子どもにとっての合理的配慮を考えるラウンドテーブル」

*当日の進行のあらましとアンケートのまとめ

発達障害児を持つ子どもの保護者、特別支援学校の教諭、小児科医師、放課後等児童ディサービス支援者が、両会のアドバイザーである大井佳子氏のコーディネートのもと、学校生活を中心に、授業、トラブルへの対応、健全な子どもとの共生の中で生まれる学びについて、それぞれの立場から、ありのままにエピソードやその思いを語って頂きました。テーブルの周りを囲んだ一般参加者も議論に加わり立場を越えて、発達障害を持つ子どもにとって本当に利益になる配慮とはどんな事なのかを話し合いました。馳文部科学大臣も周りを囲む一人として参加いただき、多くの質問にもお答えいただきました。

*アンケートのまとめ(参加者数49名 回収数27のうち非公開希望が1:青字)

・先生の立場やいろいろな立場の話が聞けて良かったです。学校は皆が同じが基本なので「違ってもいい」がもっと学校現場で認められるといいです。(保護者)

・今回のテーマで現役の先生と話したのですが、現場では対象となる生徒が多く、きめ細やかな配慮が出来ないと嘆いておいででした。合理的配慮が子ども一人ひとりのためになることを祈っています。志を持って頑張っている先生を応援したいです！親としてできること声を上げて行こうと思います。(保護者)

・子供達の話軽くするつもりでしたが、良い話や問題点など、ためになる話が聞けて良かったです。(保護者)

・今回初めてセミナーに参加させていただきました。ずっと涙腺がうるみっぱなしで、お話を聞かせていただきました。「先生は子供たちの人生を預かっている」という小児科の先生のお言葉がとても心に響きました。私の娘は現在小5でずっと普通級です。小4の時に1カ月ほど学校生活を送っていた時に現在の先生(講師)に「脳の病気の疑いがあるので病院で診てもらって下さい」と電話で告げられました。大手町の健康センターなどでカウンセリングを受けましたが、何となくしっくりいきませんでした。発達障害って何だろうと思いながら、今回、みなさんのお話を聞かせていただきました。現在小5になった娘は、少しずつ人とのコミュニケーションをとれるようになり、頑張っています。ちなみにカウンセリングはやめました。(保護者)

・現場の先生に来ていただいてお話を聞けて良かったです。お医者様の視点、政治家の方、保護者、いろいろな立場の方の意見が聞けて有意義な時間でした。(小学生を持つ保護者)

・学校と保護者&子供の関係がより良くなるためには、日常で起きる色々なことを解決や理解に向けて、なごやかに話し合ったり、語ったりしていた方がやっぱりうまく進んでいきそうな気がしました。そして何より、まわりのサポートが子どもにも親にもあるとスムーズ(?)に進んでいくように思います。(保護者)

・学校の立場、保護者からの意見、様々なものと共有して、子どもがすごしやすい環境が整える事が出来たらいいと思いました。(保護者)

・たくさんの教育関係者が参加して下さって貴重な意見が聞けて大変良かったです。うれしいですね、専門職の方がたくさん来て下さると盛り上がりますね。(当事者の家族)

・保護者、先生、大臣、いろいろなお話が聞けて良かったです。(保護者)

・小1の男の子の親です。小学校に入学したばかりなのでごくためになりました。残念ながら保育所から小学校への引き継ぎはうまくいったように思いましたが、とても若い先生で ADHD やアスペルガー症候群などには無知な方でした。何が引き継ぎ成功と言えるのかは分かりませんが、子供にとって学校が楽しい場になるようにという親の願いはちょっと置いておいて、これからの学校生活の事を考えていけるといいなと思いました。またこういう機会を開いていただけたらとても嬉しいです。よろしくお願いします。

・感じ方の違いから、嫌悪感や恐怖感を持つ子供達が居るんだということを一人でも多くの方に知って欲しいと思います。(保護者)

・学校の先生が何名か参加下さっていたのが一番印象的でした。やはり「先生らしい」発言内容ではありましたが、まずは参加して下さる第一歩に拍手です。(親、教師、それぞれは集まって意見を交わしたりしていますが、どうしても偏りがちになりがち、、、) もっ突込んでお話したいですね。お互い歩み寄れる、本音でしゃべれる場、欲しいです！(保護者)

・学校の先生方がいらしてお話を伺えたこと、小児科の先生の立場からのお話が伺えたのがとてもありがたかったです。ふだんは(会の)保護者の方からの情報なので、新しい視点からそれぞれの立場の方の“今”のお話で理解を深めることができました。馳大臣から直接お話を伺えたのも、びっくりしましたが、ありがたかったです。(小学生を持つ保護者)

・現場の先生の声が聞いて良かったです。(引き継ぎの仕方) 医療者の立場の話も参考になりました。話が多角的になり、いろんなことを考えさせられました。(保護者)

・何が合理的支援になるか、配慮と支援は同じなのだろうか？そこから考えていける話し合いだったと思います。学年が変わる時の引き継ぎは、ひとつとっても、書面でしっかりと伝える大切さもあるが、それを次の担任の先生がどう活かすか。そこで医師がいわれた「自分の目を信じて」というのも大切だと、それも合理的配慮の始まりになるのだと感じました。その子が楽しくハッピーになる成長に繋がる合理的配慮(具体的)は、保護者は一旦、親としてのエゴや世間一般の子の様に、という心を捨てて考えねばならないと思いました。親だけど、子どもに距離を置いて客観的に自分の子と冷静に見る力をつけたいと思いました。(保護者)

・たくさんのことが話題となりました。特に先生の多忙な中での前向きな取り組みは、今後も期待します。(保護者)

・僕自身は中学校種のため、小学校の事例に触れることができる機会を頂けた事が良かった。小中連携が広まる今だからこそ、小学校の事例をもとに考えて行きたい。(大学院生)

・セミナーでは医療機関、教育、保護者の方の意見を聞く事ができ、子どもたちにとって何が大切なのかを改めて考えさせられました。現在、学校で発達障害を持つ子供達と関わっていますが、今回発言された事例と似たものがいくつかあり、自分のいたらなさを痛感しました。これを機に「子どもにとって何が最善なのか」「そのために、自分が何が出来るか」を改めて考えて行きたいと思います。(小学校教諭)

・異なる立場の方の意見が聞いて、大変勉強になりました。(小学校教諭)

・保護者の意見を聞いて良かったです。今後引き継ぎ等、私が今できる事は最大限やっついこうと思います。学校への本音が聞いて良かったです。ありがとうございました。(特別支援学校教諭)

・保護者の方の正直な思いや教員に求められているものを実感しました。(新たに発見したものも含めて) 1人1人の子どもたちのためにできることは何か、今後も考えて行きたいと思います。(小学校教諭)

・初めて参加させていただきましたが、保護者の本音(心の叫び)を直接聞ける機会はあまりないので、大変参考になりました。私もその通り、とうなずきたくなるお話、ご意見ばかりでしたが、学校という組織の一員としてうけとめると、難しい現状も多く、お互いの主張をすり合わせながら、子どものために支援ができる環境を整えば良いなあとあらためて思いました。(小学校教諭)

・市町村、学校において支援方法が違うんだなあ、人間性なのだと思います。(小学校教諭)

・保護者の視点って、おそらく教員の立場では見えないものがあるのだらうと思います。多角的にいろいろな視座からみることはおもしろいし、参考になると思います。(小学校教諭)